

## 小布施町立図書館（まちとしょテラソ）

住所: 381-0297 長野県上高井郡小布施町大字小布施 1491-2 開設年: 1923 年 設置母体: 町立  
 所蔵資料: 蔵書 60,000 冊/所蔵品 20 点 職員総数(非常勤を含む): 13 人

目的 〔達成状況〕	①新しい表現〔まずは第一歩という出だし〕 ②検索性の向上〔今年度中に第1弾を公開〕 ③資料の保存・管理〔上記に伴い整理中〕
所蔵資料の 収録率	(年度内にまず蔵書の80%をデータベースへアップする予定)
運営予算	◆年間予算に占める割合: 17% ◆外部委託費が占める割合: 60% ◎課題・工夫点等: 高額の予算は難しいと考えたので、まずは町民参加型の「デジタルアーカイブ勉強会」から始めた。そこについての予算はなく、全体の予算の中の講師謝礼という予算から講師招聘を行った。その勉強会の段階では5年後を見据えた企画を提出し、予算査定においても将来的なビジョンを説明し続けた。その後、館外のデジタルアーカイブに関するフォーラムなどに参加し、自らのスキルアップに努め、企画を進めた。そのような状況の中でデジタルアーカイブ勉強会では、まず行うことなどを提案し、理事者に現実的な説明を行いながら予算提案を行った。町長、副町長のデジタルアーカイブの重要さの認識が高かったことから、前向きに提案を扱ってくれた。
人員	◆運営担当者: デジタルアーカイブ担当職員、知識の多い職員 ◆職員のスキル等: ・情報処理技術資格者(ボランティア)と情報交換をしている。・館長の前職が映像作家であり、在京キー局にて演出を行っていた経験を役立てている。また、準デジタルアーキビスト・学芸員・プロ映像編集者を採用。ボランティアに撮影協力の委託も行っている。◆人材育成の取組: 専門家による指導 ◎課題・工夫点等: ・課題はすべてのスタッフが兼務だということ。またデジタルアーカイブ事業は行っているが、人件費は乏しく、非常勤のみの採用枠やボランティアに頼っている。 ・町民への説明にも苦労している。漠然と理解したようだが、やはり多少なりの完成版を示し、利用していただかないと価値が伝わらないことに戸惑い、焦りを感じることもある。 ・中でも、町民による勉強会が発足していることには大変勇気をいただく。まず収集と公開ということを訴えているので、その言葉が伝わっている方もいる。その中でもデジタルアーカイブで収集、保存した18世紀の地図を使った「小布施ちずぶらり」の制作により、以前よりは理解を深めていただいた方もいる。
権利処理	◆処理方法: 自らの部署で処理 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕: 把握している〔4件/0円〕 ◎課題・工夫点等: 図書や資料に関して権利の確認を行っているが、はたしてそれが正しいのかという決め手に不安を感じることもある。
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕: 連携している〔国立情報学研究所連想情報学研究開発センターよりアドバイザーを招聘〕 ◎課題・工夫点等: 今後、連想検索とのコラボを進めていくことを念頭に事業を進めたい。図書システムも連想検索やアーカイブに詳しい企業のシステムを導入した。
その他 F.A.	まだスタートしたばかりであるが、江戸時代に葛藤北斎をわが町に招いた人物、高井鴻山が収集した和綴本などの鴻山文庫のアーカイブを開始した。また、町史作成の際に使用した古写真なども所在調査も行っているが、公開へとつなげたい。特に、鴻山文庫に関しては郷土史研究家との連携、古文書については小布施町史料調査会、古文書の会との連携を考えている。いずれにしてもまちづくり、交流をテーマとするわが町の理念にそっていると考えている。

### 【小布施町立図書館・提供アーカイブ】

■小布施人百選（オーラルヒストリーによるアーカイブ）と連想検索 想とのコラボ（仮）（1件目/1件中） 公開年: 2011 年 URL:— 更新頻度:—	
概要	小布施町を今日まで支えてこられた人（いろいろな分野の方のオーラルヒストリー）、決して役職的な選定でなく、その人の生き方に学ぶという観点を重要と考えている。 ◆コンテンツ総容量: 不明 ◆コンテンツ総件数: 100 (予定) ◆コンテンツ増加量: 不明
利用者	◆ウェブアクセス数: web 未公開(まだアップしていない) ◆館内等利用者数: 館内未提供(準備中) ◆利用条件:— ◎課題・工夫点等: 準備中なのでまだ不明
構築	◆システム開発方法: その他: 委託による開発を検討 ◆構築予算: 約 500~1000 万円 ◆予算の出所: その他: 国からの交付金 ◆予算獲得のきっかけ: 平成 20 年度地域活性化・経済危機対策臨時交付金の中から予算がついた ◆構築業務の担い手〔委託内容〕: 一部外部委託〔アドバイザー、インタビュー、コーディネーター〕 ◆コンテンツ作成費: 約 500 万円
運営	◆年間運営予算: 501~1,000 万円 ◆予算の出所: その他: 交付金 ◆運営業務の担い手: 内部の人材 (準備について)

技術	<p>◆参考文献:デジタルアーキビストに関する書籍 ◆メタデータ作成者:デジタルアーカイブ担当者 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:(検討中) ◆保存用ファイル:- ◆記録媒体:HD, DVD ◆長期保存のための取組:HD や DVD に保存と考えているが,そのフィルムやテープなど素材の劣化を防ぐ対策を心がけたい。</p> <p>◎課題・工夫点等:継続性が大切だということ,収集だけではなく,公開が大切だということ共有しながら進めたい。また,そこには,MLA 構想を念頭にして考えている。いずれにしてもまちづくりの大きな手段であり,未来への継承と考えている。</p>
システム間連携	<p>◆外部インターフェイス:その他:検討中 ◆連携システム:連携していない</p>

※平成 21 年度図書館及び図書館情報学に関する調査研究「文化・学術機関におけるデジタルアーカイブ等の運営に関する調査研究」(調査期間:平成 21 年 10 月及び 12 月)の回答内容を一部更新したもの(平成 22 年 11 月更新)。

## A. 基本情報

### A-1 自己紹介をお願いします。

館長です。

### A-2 貴館のデジタルアーカイブについて簡単にご紹介をお願いします。

デジタルアーカイブ事業

「小布施人百選」(開発中)：人づくりや町づくりに役に立てるという観点から、小布施の人物を丹念に取材し、考え方と実績と課題、将来ビジョンを「人物誌」としてアーカイブします。その方法は、オーラルヒストリーの手法で映像と電子図書にまとめるといふものです。まちづくりの思いと知恵を、当の人物が語り、生きる知恵を後世に継承すると共にデジタル資料として整理・保管し、広く末永く活用ができるアーカイブを築き上げます。

「想-IMAGINE まちとしょテラソ」(平成23年5月公開予定)：NPO法人連想出版が提供している「想-IMAGINE Book Search」は、さまざまなジャンルの情報源から関連する情報を連想計算で収集して一覧表示する検索サービスです。人間の連想を刺激して発想力を高めるといった、まったく新しい情報利用環境を楽しむことを特徴としているこのサービスと、小布施町の情報(図書館の資料、古写真、古地図など)とを連携させていきます。

「小布施ちずぶらり」：小布施町立図書館まちとしょテラソ、NPO法人連想出版、株式会社ATR-Promotionsとの共同制作による、iPhone、iPod touch及びiPad用アプリです。小布施町の絵地図(イラストマップ(2010年)及び天明年間小布施町古地図 中町周辺(18世紀後半))の上に、GPS情報を用いて現在地を表示し、おすすめスポットを見たり、Google Mapsと切り替えて見ることができます。GPS情報に基づき現在地が移動するため、地図の上を歩いているような感覚を味わえます。また地図上のランドマークアイコンには、付近のおすすめスポット情報を入れてあります。

## B. 構築時の状況について

### B-1 構築のきっかけは何ですか？また、それはいつ頃のことですか？

2007年、館長公募の際、館長より提案し、その後勉強会を開始しました。

### B-2 どういうデジタルアーカイブを作るか、提供するコンテンツの種類をどうするか等の方向性は、どのように決めましたか？

テーマを以下のように設定しています。

「デジタルアーカイブで遊ぶ、学ぶ、つながる」

～100年前の小布施人が伝えたもの100年後の小布施人へ伝えるもの～

**B-3 作業プロセスの概略を教えてください。**

国立情報学研究所（NPO 法人連想出版）に総合アドバイザーを委託しています。  
「小布施人百選」：町内出版社へアドバイザー、製本（電子図書）、データ構築を委託。  
撮影、編集は、町民ボランティアも参加。

「想－IMAGINE まちとしょテラソ」：国立情報学研究所（NPO 法人連想出版）に  
アドバイスを受けながら、データ収集。構築は、国立情報学研究所（NPO 法人連想  
出版）。

「小布施ちずぶらり」：小布施町立図書館まちとしょテラソ、NPO 法人連想出版、  
ATR-Promotions との共同制作。

**B-4 どのような体制で構築作業を行いましたか？例えば、特別にプロジェクトチームのよ  
うなものを立ち上げましたか？また、何人くらいの職員が担当しましたか？**

町民とデジタルアーカイブ勉強会を立ち上げました。担当職員は5名です（兼務者  
含む）。

**B-5 構築にあたり、他館の事例を参考にしましたか？その場合、参考とした館を教えてください。**

ありません。

**B-6 他の組織や外部有識者、自治体内の他の部署等に相談に行ったりしましたか？また、  
参考になった資料等があれば教えてください。**

組織：国立情報学研究所（NPO 法人連想出版）、ATR-Promotions  
有識者：高野明彦氏（国立情報学研究所連想情報学研究開発センター長／NPO 法人  
連想出版理事長）と同センター職員

**B-7 （委託の場合）職員と委託業者の作業をどのように切り分けましたか？**

協働で行っています。情報収集などを職員、町民が担当しています。データ構築な  
どは業者に委託しています。

**B-8 構築に着手してから公開に至るまで、おおよそどのくらいの時間がかかりましたか？**

「小布施人百選」：未公開だが完成までに約5か月

「想－IMAGINE まちとしょテラソ」：平成23年5月公開予定。約1年5か月

「小布施ちずぶらり」：2週間

**B-9 構築に際し、もっとも大変だと思われたのはどのような点ですか？**

データ収集と学習（スキルアップ）、データ所有者へ理解していただくことです。

B-10 構築に際し、担当者にはどの程度のシステム関係の知識・技術が求められましたか？  
業者に委託しました。プロとしての知識・技術は必要と感じます。

B-11 システム関係以外に必要となった知識・技術はありましたか？  
デジタルアーカイブの重要性を自覚すること、準デジタルアーキビスト、映像撮影・編集スキルです。

B-12 必要となる知識・技術をどのように身につけましたか？受講した研修等があれば教えてください。  
準デジタルアーキビスト・・・講習・試験を受けました。  
映像撮影・編集スキル・・・プロとして約20年携わりました。

## G. 稼働後の運営について

G-1 現在の担当者は何名ですか？（委託の場合、委託業者と職員に分けてお答えください。）  
職員5名（兼務）、町民3名、委託業者5名です。

G-2 日々の作業としてどのようなことを行っていますか？  
データ収集（映像撮影、スキャニング、聞き取り調査など）。

G-3 運営に当たり、課題だと感じていること、負担となっていること等がありますか？  
何に役に立つのだろうか？（負担・課題）という疑問がよぎることもありますが、100年という単位で考え、将来役に立つという思うことを大切にしています。

G-4 デジタルアーカイブのコンテンツを他の用途に活用していますか？（学校や市民講座の教材として活用、紙焼きして展示会を開催等）  
「小布施ちずぶらり」は、iPhone等のアプリとして公開しています。

G-5 日々の作業に当たり、担当者にはどの程度のシステム関係の知識・技術が求められていますか？  
知識・技術は現場にて、スキルアップさせられるが、映像の撮影、編集などのスキルがあればいいと思います。日々の作業は、基本的なコンピュータ知識でいいのではないのでしょうか。

C-6 システム関係以外に担当者に必要とされる知識・技術はありますか？

仕事の重要性、責任感を求めています。

C-7 担当者の人材育成のために、研修等何か取組みを行っていますか？

デジタルアーカイブ関連講習会への出席、書店などの見学、勉強会を行っています。

#### D. 地域住民の参加の有無

D-1 コンテンツの構築や解題の作成等、地域住民の協力を得ていますか？

得ています。

D-2 どのような点で協力を得ていますか？（コンテンツの募集、ボランティアとして解題作成に協力等）

コンテンツの提供をお願いしています。

D-3 どのような方法で参加を募っていますか？

ミーティング、調査に参加していただいています。

D-4 どのようなコンテンツを募集していますか？

古地図、古写真、資料等または、それを使っての情報発信方法案を募集しています。

D-5 年間どのくらいのコンテンツが寄せられていますか？

情報発信方法案は、数件出ていますが、まだ実践まではいっていません。古地図、古写真、資料等も若干という状況です。

D-6 集まったコンテンツは精査した上で掲載していますか？その場合、どのような点をポイントにして選定していますか？

一部掲載（古地図を掲載）。選定のポイントは、そのものを使用して情報発信できるかどうかということです。

D-7 特に留意していること等がありますか？（個人情報がかかってしまうようなものは出さない等）

古地図を使用する場合、差別につながる住居地域などへの配慮に留意しています。個人情報に対しては十分に配慮しており、許可をいただくようにしています。

#### E. 他機関との連携の有無

E-1 デジタルアーカイブの構築・運営にあたり、他の機関と連携・協力していますか？

しています。

**E-2 連携している機関の数、主な連携先の機関を教えてください。**

国立情報学研究所連想情報学研究開発センター、NPO 法人連想出版。

**E-3 何らかの協議体を作っていますか？**

デジタルアーカイブ勉強会。

**E-4 どのようなきっかけで連携を開始しましたか？**

「デジタルアーカイブとは？」といった基本的な学習から、実際の調査までを行っています。

**E-5 機関間でどのように役割分担をしていますか？（事務局、サイトの管理等）**

運営は当館が担当し、アドバイザー、システム構築等は上記機関にお願いしています。

**E-6 予算は複数の機関で負担していますか？その場合配分はどのようにしていますか？**

予算は、当館（町）が負担しています。

**F. 商用サービスの利用の有無**

**F-1 Flickr、YouTube のような商用サービスを活用していますか？**

YouTube は、若干使用しています（図書館紹介等）。

Flickr は、今後視野に入れていきます。

**F-2 なぜそのサービスを選びましたか？**

汎用性があるためです。

**F-3 そのサービスを使うメリット、デメリットを教えてください。**

特にありません。

**G. 今後のご予定・計画について、差支えない範囲でお聞かせください。**

現在進めているデジタルアーカイブサービスのさらなる向上を目指しています。また美術館等のデータベース制作を行い、運営を図書館にて行うことを考えています。

**H. その他ご意見・ご感想等ご自由にご記入ください。**

この度、参加させていただき感謝しています。他館とも連携をとりながらさらなるサ

ービス、ホスピタリティに努めたいと考えます。



## 愛荘町立愛知川図書館

住所: 529-1313 愛知郡愛荘町市 1673 開設年: 2000 年 設置母体: 市町村区立

所蔵資料: 蔵書 182,459 冊 職員総数(非常勤を含む): 7 人

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔問い合わせが増加し,ある程度達成できた〕 ②新しい表現〔充分とはいえない(改善できる)〕 ③二次利用・貸出〔資料の提供につながり,ある程度達成できた〕
所蔵資料の 収録率	5%
運営予算	◆年間予算に占める割合: 0% ◆外部委託費が占める割合: 0%
人員	◆運営担当者: その他: 他の部署の者が担当している ◆人材育成の取組: その他: なし
権利処理	◆処理方法: 自らの部署で処理 ◆処理状況: 把握していない ◎課題・工夫点等: 資料収集段階で町史編さん室と協同で許諾を得た。書面で許諾を得ているが, 原資料(一次資料)の持ち主が世代交代した場合や, 編さん室がなくなった後の処理方法に課題がある。
他機関との 連携	◆連携状況: 連携していない
その他 F.A.	—

### 【愛荘町立愛知川図書館・提供アーカイブ】

<b>■①町のこしカード Web 版 ②えちがわ歴史写真館</b> (1 件目/1 件中) 公開年: ①2003 ②2004 年 URL: ① <a href="http://www.town.aisho.shiga.jp/machinokoshi/">http://www.town.aisho.shiga.jp/machinokoshi/</a> ② <a href="http://www.town.aisho.shiga.jp/shashin/">http://www.town.aisho.shiga.jp/shashin/</a> 更新頻度: ①年 1 回程度 ②その他(していない)	
概要	カードで登録されている町の情報を HP でも見られるようにしたもの。写真館は当館所蔵写真 (S40 ごろ) の一部を公開している。 ◆コンテンツ総容量: 不明 ◆コンテンツ総件数〔内訳〕: 195 件〔「写真館」にのせている写真数〕 ◆コンテンツ増加量: 0.5 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数: 不明 ◆館内等利用者数: 不明 ◆利用条件: 無料 ◎課題・工夫点等: 館内に掲示している (利用案内)。
構築	◆システム開発方法: 不明 ◆構築予算: 1~100 万円 ◆予算の出所: 自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ: 町の HP 作成に伴い構築された ◆構築業務の担い手〔委託内容〕: ほとんど外部委託〔不明〕 ◆コンテンツ作成費: 不明
運営	◆年間運営予算〔理由〕: 0 円〔運営に費用はかかっていない〕 ◆運営業務の担い手: 内部の人材
技術	◆参考文献: ない ◆メタデータ作成者: 図書館職員 ◆準拠フォーマット: 不明 ◆利用・提供用ファイル: JPEG ◆保存用ファイル: JPEG ◆記録媒体: HD, CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組: — ◎課題・工夫点等: CD-R, DVD でいつまで保存可能か不安を持っている。
システム連携	◆外部インターフェイス: 不明 ◆連携システム: 連携していない

※平成 21 年度図書館及び図書館情報学に関する調査研究「文化・学術機関におけるデジタルアーカイブ等の運営に関する調査研究」(調査期間: 平成 21 年 10 月及び 12 月)の回答

## A. 基本情報

### A-1 自己紹介をお願いします。

現在、愛知川図書館でデジタルアーカイブを担当しております。システム構築には携わっておりませんので、構築時の話は当時の行政担当者等から話を聞きました。

### A-2 ①「町のこしカード Web 版」(以下①)、②「えちがわ歴史写真館」(以下②)について簡単にご紹介をお願いします。

① 愛知川図書館では平成 12 年の開館時より、住民が町内でみつけたおもしろいもの、後世に残したい風景・もの、などをカードに記入してもらう「町のこしカード」を実施しています。「町のこしカード Web 版」(<http://www.town.aisho.shiga.jp/machinokoshi/>) はこれをインターネットでも投稿・閲覧してもらえるようにしたもので、「ホテル」「メダカ」といった主な項目の登録と閲覧が気軽にできるようになっています。町内の地図をクリックすることでその地域の情報や写真を一目で知ることができます。

② 「えちがわ歴史写真館」(<http://www.town.aisho.shiga.jp/shashin/>) は、図書館が所蔵している写真資料の活用をめざしたものです。所蔵資料の中からちょっと昔の昭和 40 年代の写真を観覧できるようになっています。スライドショーのように写真をみることができ、拡大も可能です。

図書館で所蔵しているものの、普段目にする機会が少ない写真資料の存在を知っていただき、希望者には画像の提供もおこなっています(申請が必要)。また、こうした「ちょっと昔」の写真資料が立派な町の歴史を知る手がかりになることに気づいてもらい、新たな資料の発掘・情報提供につながることも期待して、個々の写真情報の投稿もメールでもしてもらえるようになっています。

## B. 構築時の状況について

### B-1 構築のきっかけは何ですか？また、それはいつ頃のことですか？

① 愛知川図書館が平成 12 年の開館当時から収集公開していた、地図と紙カードをリンクさせた地域資源データベース「町のこしカード」を見て、行政の電算担当者(広報担当者を兼務)が面白みを感じたことから、より多くの人にこの事業の意義を伝えたいと平成 15 年当時作成中であった町 Web サイトに掲載を希望しました。後発の自治体サイトとして話題性のあるコンテンツを持つことでアクセスを増やしたい思惑もありました。

② 町史編さん室の進捗報告ページを作成中に同室の担当者から古写真を見せられ、白黒写真の内容の深さに魅せられ、まとめて閲覧させられる方法がないか探ったのがきっかけです。同室のページでは限りがあることから写真を公開するコンテ

ンツを作ることにしました。なお写真資料はもともと図書館所蔵資料で、編さん室と合同で調査・整理を行いました。

**B-2 どういうデジタルアーカイブを作るか、提供するコンテンツの種類をどうするか等の方向性は、どのように決めましたか？**

- ① すでに図書館で公開している情報であるから改めて公開に至る障害も少ないと思い、当初から図書館のカード型コンテンツと Web 上のページコンテンツを同期させる考えでした。地図上のメッシュは図書館が設置している町内地図の荒さをそのまま使用しました。個別データの場所の特定を防ぐ目的もあったが、そのおかげで手作り感がでて良かったように思います。また、見やすさから地図はテーマごとに設けることにし、当初はホテル、メダカ、ハリヨ、かやぶき屋根、お地蔵さんなどのテーマを作ったと思います。さらに Web のビジュアルや操作性に遊びの要素を入れれば情報の提供も増えると考えました。
- ② イメージしたのはスライドショーです。ボタンを押すだけで次々と閲覧できるページを目指しました。説明文と撮影時期も表示できるよう町史編さん室から注文がありました。

**B-3 作業プロセスの概略を教えてください。**

- ① 平成 15 年度の愛知川町 Web サイト更新作業に合わせ追加ページとして整備しました。工期は平成 16 年 3 月 1 日から 1 か月。予算は 50 万円（他のページ更新業務を含んでいます）。ページの整備後は電算担当者が文章を手打ちしたほか既存の写真などをスキャナでデータ化し更新しました。その後メールや図書館のカードで提供された情報は担当者が追加更新しています。
- ② 平成 16 年度の愛知川町 Web サイト更新作業に合わせ追加ページとして整備しました。工期は平成 17 年 2 月 1 日から 3 月 18 日まで。当初 120 枚の写真に掲載しました。予算は 50 万円（他のページ更新業務を含んでいます）。翌年度担当者が 75 枚の古写真を追加しています。

**B-4 どのような体制で構築作業を行いましたか？例えば、特別にプロジェクトチームのようなものを立ち上げましたか？また、何人くらいの職員が担当しましたか？**

- ① ページ作成はサイト更新作業の受託会社担当者が 1 人。更新は行政の電算担当者が 1 人。
- ② ページ作成はサイト更新作業の受託会社担当者が 1 人。更新は行政の電算担当者が 1 人。

**B-5 構築にあたり、他館の事例を参考にしましたか？その場合、参考とした館を教えてください**

ださい。

ありません。

**B-6 他の組織や外部有識者、自治体内の他の部署等に相談に行ったりしましたか？また、参考になった資料等があれば教えてください。**

- ① 町サイト更新作業の受託会社の担当者（自治体外）。愛知川図書館長、愛知川図書館司書（自治体内）
- ② 町サイト更新作業の受託会社の担当者（自治体外）。町史編さん室学芸員（自治体内）

**B-7 （委託の場合）職員と委託業者の作業をどのように切り分けしましたか？**

B-4 参照

**B-8 構築に着手してから公開に至るまで、おおよそどのくらいの時間がかかりましたか？**

- ① 企画から4週間。うち徹夜は最終の1週間。
- ② 企画から6週間。

**B-9 構築に際し、もっとも大変だと思われたのはどのような点ですか？**

- ① 地図上でデータのあるなしを表示する手段に苦労しました。アナログ感を表現するのにかなり気を使いました。とにかく会社にまかせきりにしたくなかったし、お金をかけたくなかったので地図を含めて自作しました。
- ② 同じ画面できれいに写真が移り変わるように仕掛けを作りました。お金をかけたくなかったので、白黒写真のデータ化は町史編さん室が協力しました。

**B-10 構築に際し、担当者にはどの程度のシステム関係の知識・技術が求められましたか？**

HTMLについての知識です。

**B-11 システム関係以外に必要な知識・技術はありましたか？**

アクセシビリティに関する知識です。

**B-12 必要となる知識・技術をどのように身につけましたか？受講した研修等があれば教えてください。**

システムに関する研修は受けていません。

**C. 稼働後の運営について**

**C-1 現在の担当者は何名ですか？（委託の場合、委託業者と職員に分けてお答えください**

い。)

図書館職員 1 名です。

G-2 日々の作業としてどのようなことを行っていますか？

メールのチェック（投稿等の有無）を行っています。

G-3 運営に当たり、課題だと感じていること、負担となっていること等がありますか？

図書館で自由に更新ができないことです（平成 23 年度改善予定）。

G-4 デジタルアーカイブのコンテンツを他の用途に活用していますか？（学校や市民講座の教材として活用、紙焼きして展示会を開催等）

写真資料は展示等に活用しています。図録等にも掲載しています。

G-5 日々の作業に当たり、担当者にはどの程度のシステム関係の知識・技術が求められていますか？

現状ではほとんど必要ありません。

G-6 システム関係以外に担当者に必要とされる知識・技術はありますか？

町域の基本的な知識（歴史、大字名・小字名などの地理的な知識）です。

G-7 担当者の人材育成のために、研修等何か取組みを行っていますか？

今のところ行っていませんが、適切な研修等の機会があれば参加したいです。

#### D. 地域住民の参加の有無

D-1 コンテンツの構築や解題の作成等、地域住民の協力を得ていますか？

①、②とも、そもそも住民からの情報提供でなりたっている部分が大きいです。町のこしカードの地域の情報も、写真館の写真の情報も地域住民の協力なくしては得られません。当初システムを構築した際も、委託した会社で担当して下さったのはまちづくりに熱心な町内の住民の方でした。毎日、行政の担当者と夜を明かしてサイト作りに執着しましたが、町のこしカード Web 版の制作にはとくに情熱を注いでいました。地域の大切な宝を記録する「町のこしカード」は、町の未来を感じる地図だと思っています。

D-2 年間どのくらいのコンテンツや情報が寄せられていますか？

約 10 件(作業上の都合により、現状は Web 版には反映されないことが多い。)

D-3 集まったコンテンツや情報は精査した上で掲載していますか？その場合、どのような点をポイントにして選定していますか？

情報として意味が汲み取れるものであるかをポイントに選定しています。

D-4 特に留意していること等がありますか？（個人情報が分かってしまうようなものは出さない等）

肖像権が発生する画像、プライバシーを侵害すると思われる画像、第三者を誹謗中傷するような投稿などは掲載しません。

#### E. 他機関との連携の有無

E-1 デジタルアーカイブの構築・運営にあたり、他の機関と連携・協力していますか？

自治体内の連携のみです。

#### F. 商用サービスの利用の有無

F-1 Flickr、YouTube のような商用サービスを活用していますか？

活用していません。

G. 今後のご予定・計画について、差支えない範囲でお聞かせください。

平成 23 年度にホームページをリニューアルする予定です。